

秋田県の元気な地域の活動情報満載!!

元気ムラ通信 20号

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」(通称: 元気ムラ応援サイト)で紹介している地域活動を、より多くの皆様に紹介するために発行しております。

●発行日:平成31年2月1日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitter アカウント
→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!

女性の声を生かして楽しい活動を!



上町地域(能代市)

↑自主防災組織を立ち上げ、非常食づくりも達人の域♪



南郷地域(横手市)

↑GB ビジネスに取り組む集落が集まった山菜出荷研修会



前山地域(北秋田市)

↑花壇整備で表彰された前山婦人会。干し餅作りもお手の物♪



男鹿中地域(男鹿市)

↑近隣の集落同士が集まって山菜の出荷方法を確認中。

人口減少が進み、各地で「同じメンバーでは新しい意見が出ない」といった声が聞かれますが、女性が活躍している地域には、楽しい活動が生まれています。

能代市の上町地域では、平成14年に女性部をたち上げてから、自主防災組織も結成し、防災セミナーを毎年開催しています。この他、地域内外の人々と連携した朝市やまちなか美術館も開催し、多彩な活動を行っています。

元気ムラの GB ビジネスに取り組む女性たちも、山菜の出荷

や販売経験がない人がほとんどでしたが、実際に出荷している現場を見て「自分たちでもできそうだと、これまでの生活の知恵を土台に経験を重ね、活動の幅を広げています。

女性の会話には楽しい活動のヒントが隠れています。地域活動で思い悩んでいる自治会の方は、ぜひ、地域の女性たちの声に耳を傾けてみてください!



小野地域(湯沢市)

小野地域の「かあちゃん」たちが、月1回(冬期はお休み)開催している「かあちゃん笑店(しょうてん)」。農産物などを販売していますが、住民同士の「お茶っこ」が楽しみの一つです。昨年に始めたばかりですが、地域内外からお客さんが来て「楽しい」時間が増えています。

おらほの地域でこんな活動やっています!

キーワード

車

住民の「移動支援」



狙半内(さるはんない)地域

- 場所…横手市増田
- 156 世帯 (6 集落で構成)
- 活動団体…狙半内共助運営体

車がない住民の移動手段が確立されたほか、見守り活動にもつながっています。

狙半内共助運営体で、雪下ろしや移動手段の確保のためのミニバン運行を行っています。

ミニバン運行は、住民が運転手となり、月～木曜日に地域と十文字町を 1 日 4 往復します。

路線バスが廃止となった地域で、高齢者の通院や買い物に役立っています。

乗降を運転手が手助けして、利用者の家の前まで送迎するなど、利用者寄り添った運行を心がけています。

キーワード
歴史

歴史の周遊ウォーキング



檜山(ひやま)地域

- 場所…能代市
- 395 世帯 (18 集落で構成)
- 活動団体…檜山地域まちづくり協議会

地域外から訪れる客はもちろん、住民も地域の歴史の深さを再発見できます。

国指定史跡の檜山城址など、地域の歴史資源を、より多くの人に知ってもらおうと「周遊ウォーキング」を年 1 回 (11 月下旬) 開催しています。

ガイドは「のしろ檜山周辺歴史ガイドの会」。地域外の人でも歴史養成講座を受ければガイド認定を受けられます。

1 日では周りきれないほど、歴史資源が豊富なため、何度も訪れるリピーターが多いのも特徴です。

キーワード
商店

店舗を地域の拠点に!



仙道(せんどう)地域

- 場所…羽後町
- 356 世帯 (20 集落で構成)
- 活動団体…仙道地区振興会

仙道てんぼが様々な活動の場所になり、地域に賑わいをもたらしています。

仙道地区振興会が運営する「お互いさまスーパー仙道てんぼ」は、商店の撤退などによる買い物困難の解消だけでなく、併設している地域交流サロンで、住民の交流が行われるなど、地域活動の拠点としての役割も担っています。

また、雪下ろしなどの共助活動を行った住民に「地域通貨」を支払う仕組みをつくりました。この地域通貨は「仙道てんぼ」で利用でき、売上げにつながっています。

キーワード
若者

年間を通じた学生との交流



馬場目・杉沢地域

- 場所…五城目町
- 90 世帯 (4 集落で構成)
- 活動団体…清流の会

お互いの名前と顔を覚えることがポイント。あだ名で呼び合う住民と学生もいます♪

第一学院高等学校(秋田市)の生徒との交流は、年 5～6 回のペースで行われます。

「人と人の繋がりの大切さ」を生徒に学んでもらおうと、生徒が地域を訪問して草刈り、雪おろしや秋祭りの手伝いをしたり、地域住民が学校の文化祭で直売市を開催したりと、年間を通して交流しているのが特徴です。

交流を経験して学校を卒業した生徒が、次の年も遊びにくるなど、人と人の繋がりは確実に紡がれています。

各地域の活動を調査中です。

新しい元気ムラが増えました!

今年の 3 月末に、元気ムラ応援サイトに 5 地域の紹介ページを公開する予定です。お楽しみに!

各地でいろんな活動が行われています!



①川上地域(小坂町)

小坂の夏の風物詩「小坂七夕」の山車制作や、虫送りなどの伝統行事を継承しています!



②中通地域(藤里町)

白神山地の麓で、温泉が豊富な地域です。夏祭りを 30 年にわたり継続しています!



③荒又地域(大仙市南外)

秋田駅で漬物、山菜、くるみなどを販売し、GB ビジネスにも取り組んでいます!



④金沢地域(横手市)

後三年合戦の古戦場で知られています。朝市の開催や共助組織の雪おろしも活発です!



⑤福島地域(横手市大雄)

直売所と交流機能を併せた福島停留所を作り、伝統燃料「田村根っこ」の復活にも取り組みます!

GB ビジネスは「地域資源」を生かし、
 地域住民の生きがいをづくりにつなげる取組です。

元気ムラ支援室では、GB ビジネスに取り組む集落を支援しています。
 これまでに行われた GB ビジネスの活動をご紹介します。

秋田駅で「地域の元気 お届けマーケット」を開催！



今年度は秋田駅（秋田市）で 3 回（6、10、11 月）開催し、20 団体（初出展は 5 団体）が地域自慢の逸品を販売しました。

秋田駅の客の特徴は、旅行客や高齢者など車を使わない人が多い点です。購入客からは「スーパーで販売してる大量生産の漬物でなく、昔ながらの漬物が買えてうれしい」という声もありました。

集落で当たり前前に食べている山菜や漬物は都市部では手に入りにくい貴重な商品です。来年度も開催な予定ですので、興味のある地域団体は、ぜひご連絡ください。

元気ムラ集落の食材を 使った商品が誕生！



「こはぜ」を原料にした
 クラフトビール



「食用ほおずき」を
 使ったポップコーン

GB ビジネスに取り組む集落の食材を使った商品が続々と誕生しています。まだ試供段階ですが、ビールとポップコーンは、昨年 12 月に開催された「ファームエイド銀座 2018 冬」、今年 1 月に開催された「在京秋田県人新春交歓会」でお披露目されました。



山菜ときこのをミックスした「納豆汁の具」も集落の食材を商品化したものです。

GBビジネス
 参加地域
 募集中！

販売経験が
 ないから不安…

話だけでも
 聞いてみたい

取組地域の
 視察にいきたい

GB ビジネスに興味のある地域団体の方は、
 元気ムラ支援室（電話 018-860-1215）まで！



ふきのとうの
 出荷が始ま
 ります！

表彰
 おめでとう
 ございます。

秋田県特別表彰！



落合地域（五城目町）

落合鶴亀漫芸一座は、漫芸、手品や民謡などを得意とする人が集まり結成しました。地域内外からお呼びがかかり、「芸」によって活気を作っています。

県地域振興局の顕彰事業で表彰！



前山地域（北秋田市）

前山自治会では、婦人会を中心に、買い物代行や月 1 回のサロン活動（健康教室や干し餅づくりなど）を実施し、住民の集いの機会となっています。



下岩川地域（三種町）

下岩川地域力推進委員会では、個々の集落で続けることができなくなった盆踊りを、下岩川地域の大盆踊り大会として開催し、行事の継承に取り組んでいます。



男鹿
特集

地域からの メッセージ No.19

元気な地域の想いを発信！

男鹿市の各集落に受け継がれてきたナマハゲ行事は、昨年11月にユネスコ無形文化遺産登録され、さっそく大晦日に、元気ムラ登録している集落でも行事が行われました。各地の声をご紹介します。



自分たちが ナマハゲやっています！

ナマハゲで大事なことは住民と「会話」することです。子供は名前呼びかけることによって怖さがより伝わります。集落の先輩たちに「あのナマハゲ誰だ？うまいな！」と褒められると、やりがいになります。

ことかわ

琴川集落

佐藤立(りゅう)さん



ナマハゲをやっている時はとても楽しいです。自分たちが家に入るとみんな喜んでくれて、やりがいになります。(武田)

なかまぐち

中間口集落

武田真志美さん
三浦賢一さん



ナマハゲになるのは青年会などの若者たち！



子供は成長する度にナマハゲに対する反応が違います。ただ泣いていたのが、お出迎えしてお酒をついで、もてなすようになります。子供の成長を見られるのが、この行事のいいところですよ。(三浦)



地域の先輩たちのナマハゲへの想い

しびかわ

鮎川集落

成田義則さん

小さい頃は、高台に住んでいて、風呂に入っていると、下の方からナマハゲの声が聞こえてきて、どこに隠れたらよいか落ち着きませんでした。昨年は、帰省した



若者も合流し、例年よりナマハゲに関わる人数も増えました。今回の登録を機に、ナマハゲが若者の集まる機会となっていきたいですね。

ちゅういし

中石集落

鈴木和俊さん



中石のナマハゲは、若くて威勢がよいです！行事に参加するため実家に帰って来る人もいます。ナマハゲになる若者たちが、誰が教えたわけでもないのに、「来年、また来るから“まめ”でいれよ」と声を掛けていく姿は頼もしくみえます。彼らの子供たちが、成長してナマハゲになり、行事が伝わっていくと信じています！

あんぜんじ

安全寺集落

安田俊之さん

昨年は、地元出身の若者2人が帰省し、ナマハゲに扮(ふん)してくれました。毎年、有志だけで行っていたので、世代が若返ったよううれしかったです。若者は仕事の都合などありますが、徐々にナマハゲを担う世代が若返ってくれたらうれしいですね。

子供を戒める恐ろしいイメージのナマハゲですが、その正体は集落の人々。そこに暮らす人の数だけ、ナマハゲの思い出があります。集落の人数は減ってきていますが、帰省した若者や外部の人が手伝う所も増えてきました。住民の皆さんの想いと一緒、これからも大切な行事を残していきたいですね。

来年もからは！



ナマハゲ(7月)の唄

元気ムラ通信のご感想・ご意見もお待ちしております！

【発行】秋田県 活力ある集落づくり支援室(元気ムラ支援室)

●住所 / 〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1 ●電話 / 018-860-1215 ●FAX / 018-860-3875 ●E-mail katsu@pref.akita.lg.jp